

第2回真鶴駅周辺地区構想検討会議 議事録

日時：平成30年11月5日（水）10:30～12:00

場所：真鶴町国民健康保険診療所 2階会議室

1 開会

みなさんこんにちは。

本日は公私ともにお忙しい中、第2回真鶴駅周辺地区構想検討会議に出席いただき誠にありがとうございます。

事前に配布させていただいた「第2回会議に向けた提案の依頼結果」両面刷りの2枚と「平成29年度真鶴駅周辺環境整備基本計画の概要版」を使わせていただきます。お持ちでない方につきましては、予備に用意しておりますのでお申し出ください。それでは、第2回検討会次第の「2議題」から進行を会長にお任せいたしますのでよろしくお願いいたします。

2 議題

（1）真鶴駅周辺地区構想について

・会長：第2回会議に向けた提案の依頼結果（P1）の3～9の中で意見をいただきたい。

委員：

- ・駅前広場は今のスペースを基本に、交通のコントロールを考えたほうがよい。
- ・駅前の135号が50km、60kmでスムーズに通れなければいけない、ということはない。幹線道路のところどころに集落があったとして、その集落の出入り口はスピードコントロール。駅前が時速30kmぐらいで動けばよい。今は5差路でややこしいが、事故がないように技術的に検討してほしい。
- ・【5】の景観は、駅前も美の基準をもとにしてほしい。駅を降りたときにパッと見渡して真鶴いいなと思えるように建て替えなどを進めたらよい。直接的に観光客を呼ぶ物産館というよりは、駅前にインフォメーションセンターを。イギリスのある町へ行くとインフォメーションセンターがあり、その町の暮らしもわかる。これらを参考に今ある観光案内所をもっと広げて充実させる。

会長：資料の作り方について、【5】の景観はコンセプトに近いものなので、ここに並列であるのは違和感がある。コンセプトのところに、「美の基準に沿って新しく整備を行う際に、少しずつ配慮を行いながら実施する」と書かれるべき。「駅前施設」の項目を新たに作成して【11】とするように。

委員：

- ・駅前ロータリー活性化、信号や商店街がメインになる。駅を降りたとき寂しい。ランドデザインでは3階建ての建物を建てて、そこへ交番から駅舎から全部入れるという意見もあるが、そんなもの要らないという意見もあり、通り一遍の議論ではなくよい傾向だと思う。どうしたら町民の生活が便利になるか。駅前にお店ができればそこから来た人はよいかもしれないが、駅前で商売されている方は売上が減る。住民第一で考えたほうがよい。
- ・観光客は素通りしないで、半島のほうに行ってお金を落とすようにしてあげれば町の活性化になる。
- ・【3】～【9】に書かれていることは、経済的に町の負担にならないように工夫してほしい。
- ・10年で約2,000人減少している。原因を追求することはないのか。転出者・転入者に理由を聞いてみてはどうか。

会 長：全体的な話ではあったが、過剰な整備は不要。活性化したいのであれば人口減少の原因を調べてはどうかとご意見をいただいた。

委員：

- ・跨線橋のエレベータは片方しかない。両方作ってほしい。これ以上橋の上の駅などを作らなくても十分。
- ・駅北には住宅地が広がっていて、商店が一つもない。買い物難民になっている。坂もきつい。お年寄り郵便局のところの狭い隧道を通過して小田原百貨店に行くしかない。小さなお店でもあるとよい。
- ・公園にもトイレがないので、子ども観光客にも不便。トイレがほしい。
- ・その程度で十分。住民たちだけの地区であるということをはっきりしたほうがよい。ケース ABCD で大変なお金をかけるのであれば、もっと他にお金のかけようがあるのではないか。

会 長：【4】隧道と【7】駅北はセットで考えましょうということ。駅北については片方にしかないエレベータがもう片方にもあれば十分である。買物は隧道を使っている。あとは可能であれば公園にトイレをつけると。

委員：

- ・観光協会として駅前に案内所を設けている。ロータリーに観光客が車を停めて観光案内所に寄るためのスペースがない。駅前駐輪場の利用者の7割近くが湯河原の人。電車が着いて出ていくのはすべて右側。よって、駅裏に迎えに来る人のスペースがあればよい。ロータリーの中に一般車は入らせない、観光客とタクシーとバスのみに行ける可能性がある。ただし、駐輪場を裏にあわせて持つと、人件費倒れで運営が赤字になる。駐輪場・バイクの駐輪場は1か所にまとめたほうがよい。駅の裏側の整備は、あくまで送迎車用の誘導としたらよい。駐車場は有効だが駐輪場は駅北に要らない。真鶴で駐輪場を利用しているのは、岩地区で雨の日に利用しているだけ。

会 長：p 23、先ほどの方の意見はエレベータだけ、橋上施設は別として、今回の方の意見はこれに近いご意見だった。

委員：真鶴で箱ものを整備するのであれば、せっかく美の基準があるので、それを活かして真鶴らしさを出していったほうがよい。

会 長：当たり前だし一番重要なことである。

委員：

- ・駅の南北を結ぶ話が先ほどから出ているが、計画をみると橋上駅舎が書かれている。隧道も分断されている南北の地域を結ぶものとしてある。それに既存の跨線橋がある。本当に人の流れがどういうものなのか、どういう人が行き来するか。橋上駅舎化はお金がかかる。隧道も100億円を超える試算がある。地域にとって必要なものは、人が行き来するようなものが必要なのか、車も含めて行き来できるようなものが必要なのか、しっかりと議論して進めていくべき。人だけでよいのであれば、今ある跨線橋だけでは足りなくて、橋上駅舎が必要なのか、という話もしていく必要がある。
- ・駅は町民だけではなく、観光客という可能性も含めて、町民が利用するための駅の形と、観光客を誘致していくための町の玄関口としての駅の形をどうしていくのか、そういったものが駅前広場のあり方であるとか、バスを含めたネットワークの

話になってくる。その辺を議論してある程度ビジョンができた上で、本当に必要なものを整備することが大事。

会 長：町民からも橋上駅舎は要らないのではないかというご意見がある。現状ベースで必要なものをくっつけていく、エレベータとか、トイレとか。そのほうがよいのではないかという意見と、あとは観光客の位置づけをどうするかという話であった。

委員：

- ・昨年策定された基本計画は、町の目線だけで作っていると感じる。これに町民の声が反映されていないと強く感じる。この会は次のまちづくりを協議する場なのに、基本構想のあり方の議論になってしまっていて、後退的な意見が多く感じられる。基本構想を作った目線と町民の現実にギャップが濃すぎる。
- ・現実的なまちづくりに何が必要なのか、必要なものを抽出した結果、こんなものができるといい、あんなものができるといい、というような。協議会の立ち上げ方にギャップを強く感じている。そこに創意工夫することによって、まちの将来像が町民の声をクローズアップして見えてくるのではないか。昨年も市民のアンケートをもとに議論してしまっているところがあったり、たてつけというか骨子の作り方というか、違和感を強く感じている。

会 長：皆さん思っていることはほとんど同じではないか。みんな身の丈でいいと思っているのに、何でこのような案ができていいのかという素朴な疑問があるのかもしれない。事務局、来年度は何をするのか。

事務局：ランドデザインを策定するという命題があり、今年度末、できればもう1年かけてやりたいとは思っているが、スケジュール感としては2年間で検討会を開催する。

会 長：今いただいた意見のように足りないもの、どうしても必要なものをくっつけるという考え方で大丈夫か。

事務局：住民の方々からの視点が足りないというのは事務局としても感じている。

会 長：ニーズがないとJRも対応できない。地元の声をしっかり汲み上げた上で対応いただいているところだと思う。そういう意味でもしっかり考えたい。

委員：

- ・観光客と住民、双方のニーズがあって、自家用車の乗り入れとか、駐輪場とか、町民や近隣市町の方が使われるものと、外から入ってこられる方が必要とするものがあるので、そこをどうやって整理をつけるかということだと思う。
- ・熱海はラスカができた。仲見世を筆頭に地元の商店街はどうなったかということや、人が集積することによって全体が活性化して効果が現れるのか。特に駅前を課題としているのであれば、真鶴はラスカのようなものがあつたほうがよいのか、考える必要があるのではないか。
- ・公共交通については、駅前を結節点として、各地へ路線を出す。個別の送迎と公共交通は基本的には分離をされているべき。地元を活性化したいという想いは共通のものだと思う。地元の人ができるように駅を使って利便性が向上し、交通の危険性が減少するかどうかということと、駅周辺で商売をされていたり、活性化をもちたいという考え方、これについては駅を整備するにあたって、地元の方とどのようにするのかということ、必要であれば同様のところを調査する。人がどう動くのか、調査したほうがよい。

会 長：住民向けと観光客向けに分けて表にしたほうがわかりやすい。次回の会議ではそのような整理の工夫を。熱海はフィルムコミッションやトップの動きもあり、もし同じようにやるならそれをカバーするソフト面も必要かなと思う。熱海は行政が相当頑張っている。真鶴がどこまで頑張れるかということもある。

委員：

- ・住民のためか観光客のためか難しいところはあるが、たたきのようなここまでのものは要らないと思う。
- ・駅北から、お迎えには福浦のガードを通ってくるが、ガードの裏側の渋滞はほとんどない。駅前の渋滞をよいこととして捉えると資料にはあるが、真鶴半島に行く観光客で渋滞するということであればそれはよい。通勤の方で渋滞しているのであれば交通事業者もその渋滞に巻き込まれる。200 円の料金が無料になってからものすごく渋滞する。経済的損失は大きい。したがって【3】駅前交差点、これは解消に向けて道路を広げてもらいたい。
- ・【6】ロータリーは何十年も前から送迎の車が多い。特に夜間。バスが入ってきてモクラクションを鳴らさないと移動しない。いったん移動すると次に停める場所がなくなってしまうから。ピークの際は国道まで並ぶ。これを解消してもらいたい。そのスペースを作っていただく。ただし、それが駅の北側でよいのか。真鶴半島や岩方面の方は、福浦のガードを超えて行かなければならない。北は北、南は南で考える。ただし、交通事業者と交わらないように。今現在でも一般車両との接触事故が発生している。
- ・【9】商店街のことは町が仕切ってやれるのか。人通りが戻ってくるのかというと非常に難しい課題。この会議だけではなく、観光に関しては観光に関する方々に、商売については商売の人たちが色々な意見を言える場を作って、その意見をまとめたほうがよい。真鶴は商売するには厳しいまち、【9】商店街は非常に大事。

会 長：観光客目線と、送迎、町民目線というか、そのあたりが一番厳しい解決しなければいけない部分だと思う。送迎問題、我々も車で動けないことがあった。かなり問題だと思う。

委員：

- ・進め方としては、真鶴駅前に必ずあったほうがよいものと、付加価値のようなあったらいいねというもの、そのような整理をしながらまとめていったほうがよいのではないか。
- ・湯河原は温泉のまちなので、湯けむりというコンセプトを決めて進めた経緯がある。あとは交通事業者などと協議をして進めた。

会 長：p 3 はもう少しわかるように書いたほうがよい。湯河原は湯けむりということだったが、p 3 だと真鶴はどこにあるのかわからない。

オブザーバー：

- ・昭和 28 年に駅の北側に仮設のホームを作った。本小松という石が出るのでそれを採石して鉄道の軌道に乗せていた。新幹線ができるので、普通の砂利だと石が飛んでしまうが、飛ばない三角の石を探したところ真鶴の石が良かった。広場は縦に車が入れるようにしたのが元。その後、石は墓石にも使われるようになった。
- ・真鶴駅は、道路と駅舎との範囲が非常に狭い。駅舎を建て替えるときに、出口を両方に設けるといった方向にしてはどうか。小田原の東西通路はそうなっている。122 億円かかった。早川駅も同様の問題を抱えている。根府川駅は高上

げをした。

会 長：ロータリーの送迎、交差点改良、南北問題、このあたりが交通の重要なテーマになっている。

委員：

- ・駅前に来たい車両をすべて受け止めるかどうか。ニーズがあるから車はやってくる。送迎が本当に必要ですかというキャンペーンをやっているところがある。これはモビリティマネジメントというが、実はピークのほんの少しの時だけ混雑するということがある。それでも本当に必要な送迎については、駅でやるのか、少し離れたところでやるのかになる。ニーズを知った上で、駅前のあの空間ですべて受け止める必要はないだろうと考えてもよい。駅の北側になるかもしれないし、国道の前後の空間を使うことになるかもしれない。
- ・交差点はどうにもならない。できることなら既にやっている。旧道もお金を取るとか、新道と旧道の分担、それも望ましくないということであればそれも含めてということかもしれない。これはランドデザインということになるかと思う。駅前の交通量をどうするかということを引きちんと議論すれば自ずと答えは出てくる。
- ・駅の計画でいうと、北側と南側を分断しているところは否めない。できるだけ駅を降りた人が行きたくなくなるように、今だと行きたくなくなるという感じではない。知っている人は行くし、用事があれば行くが、空間的な一体感はない。それをどこまでやるかというのが一番大きいと思う。
- ・南北は、機能的には既に跨線橋がありエレベータがあれば担保はできるはず。それ以上のことをやると急にお金がかかる。どこまでやるかになる。現状の跨線橋でエレベータがついて、行くのは今までより楽になるが、山側と海側で市街地の一体感が出るかというとなかなかそこまではいかない。そこを町として重要だと考えるのであればやり方はあるかもしれない。純粋に機能としてみればエレベータをつけておしまい、十分ということになる。個人的にはもう少し一体感があっていいのかなと考える。橋上駅舎がいいのかどうかは判断が難しい。

委員：

- ・駅の北側には中学校があり、その入り口にちょうど車が1、2台止められる。しかし、中学校の前での送迎は危ない。迷惑をかけている状態。そういうものを作るのであればきちんとした送迎場所を作ってもらいたい。

会 長：図面にあるほどのものではなく、少し送迎できるスペースを作れば、ある程度の危険性は回避できる。

委員：

- ・難しいのは、今の空間でもピーク以外の時間はかなり車用のスペースがあるというのが印象だろうと思う。ピークになれば一杯になるので、ピークにあわせて作るのがよいのかどうか、送迎の方はちょっと歩けばいいのであればそこを使う。駅前にこっそり入って送迎することが危ないということもあるので難しい。真鶴駅の乗降人員としては、あの駅前の空間は決して狭くはない。個別の時間帯としては足りなくなるが、あのままドーンと大きくなるというのは直感的にあまり考えたくない将来像ではある。

会 長：直近の問題としては、送迎をどの程度どのように処理するかという問題と、それに加えて観光客やタクシーとかの受け止め方。真鶴駅くらいの乗降客数であれば今の大きさでも十分ではないかというご意見もあった。ただ、観光地という部分もあるので、そのあたりをどうするか考えないといけない。交差点についてはどうにもならないと。やれることならやって

いるので、今の交差点を前提にして考えるべきだと。ただし、商店街と駅とが分断されているので、一つになるようなことができないかと。駐輪場については、観光案内施設があるけれどもバラすとペイしないだろうということであった。

- ・こうした項目ごとではなく、issue ごと整理したほうがよい。次回は、送迎問題、交差点の安全確保、南北の連携、商業の活性化と利便性、このぐらいの内容で整理するのがよいのではないか。
- ・それでは全体コンセプトについて。現在の「利用する人、訪れる人、住む人のだれもが、快適に利用でき、魅力を感じるまち」というのはあまりにも当たり前すぎる。湯河原では湯けむりというテーマで設定されたということなので、もう少し真鶴っぽい感じに。今のものでは真鶴感がゼロ。駅はまちの顔になる部分なので、工夫したいところ。

委員：

- ・湯河原駅は営業車と一般車両が別々になっている。営業車のところは一般車進入禁止でタクシーが自由に出入りできる。真鶴は混在していて非常に問題。一般車両、バス、タクシーと色分けしてやったらよい。昼間はたいしたことがない。朝夕やバスが終わったあとに混雑する。広さの問題もあって難しいが極端なことを言えば2つに分けたらよい。瞬間的なものですぐに送迎車はいなくなる。お金をかけなくても解決できると思う。

委員：

- ・駅前広場に入ってくる車はカウントしていないか。道路上の交通量は道路交通センサスがあるが。

委員：

- ・なんで真鶴がよいかと言うと、スローライフ。都会に住んでいて12年前にこちらに来て2年前に完全に移住した。7,000人のまちなのであれやこれやできない。それでいいと考えている。せっかく美の条例があって、これが目指しているのはたぶんそれだろう。渋滞は、駅前を通るのにせいぜい信号3回くらい。それを、信号待ちをしなくてもいいように道路を改善したり、交通規制を変えたりするよりは、受け入れたほうがよい。駅前駐車場は15分無料。そこをピークの時にはうまく活用するとか、問題なのは料金所を出てから道路に入るのが非常に危険なこと。そこは工夫が必要。もう少し手前で一回信号を作るとか、全体を連動させるとか。私はそれらは受け入れて、魅力を掘り起こしたほうがよいと考える。私の真鶴の魅力はスローライフ。

委員：

- ・箱ものでのイベントは他でよいし、自然の中の小さいまちではどうしたら観光地と言えるのか。住民が楽しく、土地に合った表情を守るとか、元気が良ければそれでよいのではないか。そこに都会の人が魅力を感じてくれればよい。

委員：

- ・ケース ABCD とあるが、国道がすべて3車線になっている。これは前提なのか。

事務局：

- ・上りが2車線、下りが1車線。駅側に拡幅したイメージになっているが、案の1つとして考えていただければよい。

委員：

- ・半島のほうに曲がる車が道路を塞ぐ。特に石を積んだダンプカー。これが港から石を運び出すのに右折する際に駅前の

車を止めてしまう。それが渋滞の元。右折レーンを作ってほしいというのが昔からあった。それが時差式にしてほしいと。右折レーンにするには道路の幅が足りないということで、将来的に自転車の駐輪場などを外して、奥に入れて広げるといふことも考えているという話が前にあったので、そういう方向でいくのかなと考えていた。

・タクシーが車庫から出るのに、渋滞の車と車の間から出るので非常に危険を伴っている。私も東京に長かったので大した渋滞ではないことはわかる。しかし危ない。

委員：

・車の取り回しという意味ではよくない。駅前広場は JR 用地。道路なら警察が入って交通処理をするが、民地から出てくるようなもの。問題があり協議の対象にはなる。ただし、解決方法は色々ある。今の問題をすべて受け止めて考える方法もあるし、問題をどこか別のところに移して考える方法もある。

委員：

・時差式にしてもらうだけでだいぶ違う。信号が赤になってから右折を始めてしまう。はっきり言って信号無視が常態化している。

会 長：新設の 3 車線目は JR の敷地に入っているのか。

事務局：そのイメージで作成している。

委員：

・道路事業なので譲ることは可能。3 車線にして広場の機能を今の状態から圧縮された時に、広場が機能できるかという議論になる。

会 長：時差式でも今の状況よりはだいぶ緩和できる。

委員：

・朝夕で規制を変えたり、交通量の多い時間帯だけ時間差にしたり、時差式にすること自体はお金がそれほどかかることではない。

オブザーバー：

・駅前の広場はまちの土地か、JR の土地か。

事務局：

・JR の広場になる。

委員：

・広場には協定広場など色々な広場の種類があるが、真鶴については道路に接しているところから線路側はすべて JR が単独で底地を持っている。

会 長：今日の会議で議論になったのは、ロータリーの問題だが送迎と観光の受け止め方、5差路の交差点を右折レーンにするのか時差式にするのか、いずれにしても安全性を改善するためにどうするか、南北をつなぐ手段、商店街の活性化や駅前施設という4つくらいが大きなテーマであった。特に喫緊で解消しなければいけないのは、送迎車と観光客の共生、交差点を3車線にするのか、右折レーンを作るのか、時差式にするのかという交差点の安全性の向上、これらは駅前の周辺環境の向上に関して重要な課題になってくる。今のケースA~Dでは大々的に変えすぎているので、今の状態の図面がほしい。そこに何か書いて修正するほうが、想いが集約できてわかりやすいのでそうしたい。全体コンセプトについては、「美の基準を活かした身の丈のまちづくり」サブタイトルをつけるとしたら「小さな幸せを大切に」と仮でさせていただきます。駅前の交通の課題解消については、できるだけ早くするべきだと思うので、現状の図面を元に皆さんからご意見をいただいて、時差なのか右折なのか、右折にすると駐輪場問題が出てくる。次回は4つくらいのテーマについても少し具体的に詰めて方向性を決めていきたい。

事務局：

・先ほど2年間で作っていくという話があった。ランドデザインは他の3地区とあわせて4地区のものを今年度中にまとめる作業をしている。本日いただいたご意見はランドデザインの短期的なところに主眼を置いたご意見と受け取った。ランドデザインは中期的、長期的な展望も含めたプランとなる。駅前を具体的にどうしていくかについては2年かけてもよいが、ランドデザインについては今年度中に策定する。次回の会議は年明けくらいの予定だが、1月の末からランドデザインのパブリックコメントを予定しているので、ランドデザインへのご意見をうかがうのは難しくなる。方法は検討させていただきます。

会 長：例えば、送迎車と観光客の共生をするというのがランドデザインだと思う。今テーマ出前で、南北をつなぐとか、商業を活性化することがランドデザインであり、これで十分だと思う。

事務局：

・町長からは夢を描くようにという話も出ている。今の議論と逆行するような、お金がたくさんあったらどうだろうというようなことも考えざるを得ないような状況にある。

会 長：お金があっても小さな幸せの時代なんだと思う。

事務局：

・町民の中にはお金をかけて人をたくさん呼びたいという意見もあるので、ランドデザインの中にはそういうことも入ってくる可能性があることもご承知おきいただきたい。

会 長：大きなことはよいことだという時代は終わったと考えている。「小さな幸せを大切に」がランドデザインで私はよいと思う。多くの皆さんもそう考えていると思う。町長のご意見もあると思うが、人口のインパクト感を見る限り、あまり無謀な計画をたてると、計画の意味がなくなる。

事務局：

・計画ではなく、あえて構想という言い方をしている、その部分にそういうことも考えて入れておくという意味がある。その中で、できることからやっつけようという発想になっている。その辺もご理解いただきたい。

会 長：わかりました。わかりましたがそういう時代ではない。「美の基準を活かした身の丈のまちづくり」というのが、1991年に条例をつくって、バブルの時代を切り抜けてきた真鶴町が守ってきた姿勢なので、それこそが真鶴町のあるべき姿だと思う。30年間美の基準でやってきた自負もあると思うし、町民の皆さんの想いも、必ずしもそれだけではないにしても、今まで守られてきた大事なこともたくさんあると思うので、ぜひ大事にしてほしいと思う。

(2) その他

- ・前回の会議のあと、意見の抜粋だけしかこないの、議事録で残していただいて、意見がコメントだけだと何を求めているか、次のステップにいった時に残らない。キーワードも大事だがキーワードを抽出した皆さんの意見、前後が大事だと思うので、議事録要旨で確認して残していただきたい。
- ・前回と今回の結果をふまえて整理した後、来年1月くらいに第3回の検討会議を予定する。ランドデザインは今年度中、検討会はあと1年続く。方向性としては、短期・中期的なことをこちらの検討会で具現化していくイメージでいる。ランドデザインのパブリックコメントがあるが、そこには夢的なものが入ってくるかもしれないが、これは超長期と捉えていただき、いつか叶うのであればやりたいという考え方のもとで、認めるとか受け入れるとかそういう話ではなく、ランドデザインとしてこういうものを立ち上げるというご理解で、誤解のないようにしていただきたい。住み分けが難しい部分があるが、次回報告になるのか検討になるのか、両方やるのかここで断言できないが、今後まとめて、次回1月くらいに再度会議の通知を出させていただく。
- ・パブリックコメントをするということは、これは公式見解になるのか。ここで議論して色々な意見が出ていて、パブコとここでの意見がかなり違っていった時にどうなるのか。今の話だと、この議論を超越したことも、と聞こえるが、公式見解でそういうことをするというのか。
- ・パブコは4つのランドデザインに対してのもの。ここで議論されているものより話が大きい部分が出てくるのが可能性としてはあるので、その辺をご理解いただけたらなということ。
- ・パブリックコメントで意見を出せばいいのではないのか。
- ・そういう認識でいいということなら良かった。意見する。
- ・身の丈でいいと言っているのに、こんな構想なんて作っても意味がない。もっと実のあるものを作ったらいと思う。
- ・11/23と11/28にランドデザインの説明会を開催する。そういったところでのご意見も活かしていく。
- ・転出入者にはアンケートをとっているの、集計結果を整理してお示しする。
- ・簡単な集計だけでなく生の意見が知りたい。
- ・私も知りたい。
- ・皆さんの意見はほぼ同じだが、ランドデザインとは方向がずれているのだろうと思う。会議録を残していただいて、我々はこの議論をしたということがちゃんと残されて、次につながればいいなと思う。

3 閉会

以上を持ちまして第2回真鶴駅周辺地区構想検討会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。